



◆生育状況について

桜の開花予報(2月中旬時点)によると、長野市の開花は4月7日前後で平年比4日早く、昨年比1日早い予想となっている。

果樹においても同程度と考えられるが、今後の気温と土壌水分の状況によっても左右される。3月は気温が高い予想となっているため、今後の生育状況をよく確認し、春作業を実施する。

◆春の管理講習会の開催について

下記日程により、開催いたしますので、ご都合のよい会場へ出席ください。

① 定植後苗木管理 ② 補助事業関係 ③ 凍霜害対策など

開催月日	曜	開催時間	開催場所	担当
3月11日	火	午前10:00	西部流通センター	徳武・寺沢
		午前10:30	松代総合センター	伊藤
		午後 2:00	若穂果実流通センター	松沢
3月18日	火	午前10:00	真島フルーツセンター	根津
3月19日	水	午前10:00	東部流通センター	外谷
	水	午前11:00	信更流通センター	佐藤
	水	午前11:00	川中島共選所	松橋

◆あんずセミナー開講について

JAでは、果樹の生産振興に向けて、果樹栽培未経験の方や経験の浅い方、また、改めて果樹栽培の基礎技術・知識を学びたい方に向けて、「果樹セミナー」を開講しています。

令和7年度より、管内の特産品である「あんず」の生産振興を目的に、新たに「あんずセミナー」を開講いたします。

1. 対象 : あんず栽培を始めてみたい方、始める予定の方、栽培経験の浅い方など希望者
2. 開催期間(回数) : 3月～12月頃(全5回を予定)
3. 初回開講日 : 3月24日(月) 午前9:30より
4. 会場 : 管内の流通センター・ほ場など
5. 募集定員 : 10名(申込先着順)
6. 申込方法 : 下記の申込先より、所定の用紙を受領しご提出ください。
7. 申込先 : 営農センター、流通センター・共選所、営農資材取扱店舗
8. 申込締切 : 3月10日(月)

なお、今後はすでに実施している、もも・りんご・ぶどうのセミナーの募集を、JA広報誌「エバーグリーン」3月号を通じて行います。

◆栽培日誌配布について【重要】

3月より、薬剤防除が始まりますが、配布は例年通り、収穫頃です。記録の控えとして、日誌、防除の手引き、栽培情報等に記入ください。

なお、令和7年度より、システム変更に伴い、現行と大きな変更はありませんが様式が変更になります。内容はあらためてお知らせいたします。

◆性フェロモン剤配送後の保管と当用注文対応について

コンフューザー等性フェロモン剤は、2月からの予約農薬配送にて、お手元に届きます。設置時期までの保管も併せてお知らせしてありますが、改めて下記内容により保管下さい。

1. 保管場所に適する場所は、冷暗な場所。暗く、温度が一定な冷蔵庫や、土蔵等。
2. 適さない場所は、明るく、温度変化が大きい場所。車両の中や、日の当たる場所、暖房を焚いている室内等は、不可。
3. 追加注文
 - 1) 追加注文: メーカー在庫がある限り、当用販売が可能です。
 - ① 注文先: JAファーム、営農資材センター、経済課 ※流通センターではありません。
 - ② 引き渡し: 注文先にて
 - ③ 留意事項: 注文から引き渡しまで、お時間をいただきますが、ご了承下さい。

◆枝の飛び出しの確認について

1. 公道に枝が出ていると、車両等の交通を妨げとなる。また、他人の住宅・圃場に枝がでていると、公道上と同様に、予期せぬトラブルの要因となるので注意する。
2. 整枝剪定の際に処理する。安全で効率的に作業を行う上でも見直しを兼ねて園の周りを確認する。
また、苗木の植え付けは、将来の樹冠(枝が伸びる場所)を想定して植え付ける。

◆農産物残渣の焼却について

野焼きは原則禁止ですが農業を営むためにやむを得ない場合は例外とされています。ただし焼却は最小限になるように努めて下さい。また堆肥の原料や土壌改良資材として有効活用しましょう。

〔実施の場合の注意点〕

1. 消防署へ連絡（事前の申し出と、緊急時に連絡が取れるようにしておく）
届出書 <https://www.city.nagano.nagano.jp/n801500/contents/p000136.html> より、ダウンロード可能。
2. 周りの状況に注意する（住民から苦情が出ないように）
3. 家庭ゴミ、農業用廃プラスチック等を一緒に焼却しない。
4. 風の無い時を選ぶ（風が出てきたら焼却作業を止めてください）
5. 周りに燃え移るものが無い所で実施する。（枯れ草などが無い所、土手際・山際は不可）
6. 消火できるように準備（水バケツ・SS用意）
7. その場を離れない（人がいない場合、消防は消していきます）
8. 完全に消火する（夜は燃やせない）

◆凍害防止対策の徹底について

今後の気温によっては、凍害並びに胴枯病の発生が予想される。暖冬が続くと樹液が上がり、その後、寒の戻りで低温に遭遇すると、成木でも凍害を受け枯死するものが多くなる。

今からでもワラ巻きや白塗剤の塗布などを行い、防寒対策を徹底する。

若木で樹勢が強く徒長的に伸びているものや、結実開始前後（4～6年生）の樹は、特に凍害を受けやすいので丁寧に防寒を実施し、せん定も最後に行う。

特に桃などの核果類は弱いので、若木のせん定には注意する。切り口には塗布剤を塗布し乾燥を防ぐ。

◆春の施肥について（共通）

- 1) 総合微量要素資材「ミネパワー」
3月に10a当り1～2袋施肥する。
薬剤防除にボルドー液を散布している品目は「ミネパワーC」タイプ（銅抜き）を使用する。
それ以外の品目は「ミネパワーS」標準タイプを使用する。
- 2) ホウ素が欠乏している場合
「ほう砂」を10a当り3kg施肥する。通常は3年に1回の施肥のみ。
アンズにはホウ素欠乏が出やすい。春に雨が少ない場合は特に欠乏症状が出やすい。
施肥が多すぎると過剰障害が出る場合があるので適正量を施用する。

◆苗木の植付けについて

秋に植え付けを行わなかった場合は、厳寒期を過ぎた頃(3月上旬からを目安にする)から植付けを行う。

詳しい内容は、『植え付け資料』が各流通センター・共選所・JAファーム・資材センター・経済課に備え付けてありますので、ご利用下さい。また、果樹技術員までご相談下さい。

◆営農情報配信システムについて

営農情報配信システムを運用開始し、気象災害に係わる情報の配信を実施しています。

すでに、ご利用されている組合員の皆様もいらっしゃると思いますが、新規利用申し込み、登録内容変更を受付けておりますので、お知らせ致します。

1. 申込方法:各流通センター、JAファーム、営農資材センター 営農技術員まで
利用規約をご確認の上、新規利用申込書又は登録変更申込書に必要事項記載の上、提出下さい。
2. 申込期間:随時
3. 留意事項:申込書提出から、登録までお時間をいただきますので、ご承知おき下さい。
1組合員1メールアドレスまでとなっています。また、迷惑メール対応は、各自でお願いいたします。

◆JA長野県農業情報サービス「アグリネット」

(加入料・情報料無料)の紹介について

パソコンやスマートフォンを利用し、「購買・販売お取引情報」「JAグリーン長野栽培情報 栽培アシスト情報による注意喚起や栽培情報等の掲載」「管内の気象観測情報(管内各地に設置された自動観測機)」を確認でき、組合員皆様の営農活動に役立ちますので、ぜひご利用下さい。

お申し込みは、JAグリーン長野ホームページより。登録に関するお問い合わせは、「総合企画部」まで。

◆JAグリーン長野凍霜害対策本部設置について

3月24日から5月23日(予定)の期間、本所営農販売部に設置致します。凍霜害対策本部では、凍霜害対策の注意喚起を実施致します。

なお、タイムリーな情報収集は、気象予報、気象アプリ、紹介しているアグリネットを有効活用し、早めの対策を実施しましょう。

◆凍霜害対策資材の注文について

凍霜害対策資材の注文取りまとめを実施致します。

なお、今後は、ローソクかす確保のため、葉や土等が混入したものが混じるものがありますが、使用には支障が無い事も確認されたため、ご理解下さい。

また、空き缶(通常缶)の中古品は、ほぼ手に入らなくなっています。今あるものを大事にお使い下さい。

No.	資材名	規格	必要量の目安	自己取り価格(税込)
1	ローソクかす	約15kg入	1缶当たり3kg位(1回)	440円
2	空き缶	通常缶	10a当り40缶~60缶	11円
3		一斗缶	10a当り15缶程度	0円
4		20ℓペール缶	—	0円
5	練炭※4	1縛り14個入	10a当り60~70個	2,200円

1. 注文期日:3月4日(火)まで ※期日以降も在庫があれば、対応致します。
2. 提出場所:注文書を各流通センター・共選所まで
3. 留意事項
 - 1) 詳しい使用方法について、不明な点は、果樹技術員まで相談下さい。
 - 2) 資材について ※空き缶は、本来の用途で使用した、使用済みのものです。
①No.2空き缶(通常缶) ※小さい火を数多くが基本のため、もっとも向いている。
・ローソクかす10a当り10箱程度必要。1回の燃焼時間5時間程度。

- ・前述の通り、数量に限度があります。不足する場合は、販売数量を調整させていただきます。
また、在庫が無くなり次第、ご要望に応じて、新品1箱6缶入（2,000円程度）や9缶入に変更致します。なお、仕入れ時間がかかりますが、ご了承下さい。

②No.3一斗缶 ※火力が強いため、No.1空缶が無い場合の対応資材。

- ・ローソクかす10a当り15箱程度必要。1回の燃焼時間9時間程度。
- ・通常の缶より火力が強く、注意が必要。棚栽培や、枝に近すぎる場所には置けない。

③No.4ペール缶 ※No.2一斗缶よりさらに火力が大きい。

- ・1回の燃焼時間は、No.1空缶（通常缶）同程度。
- ・火力が強いため、-3℃以下になるような場合、防霜ファンの下への設置がお勧め。
- ・数量に限度があります。不足する場合は、販売数量を調整させていただきます。

④No.5練炭 ※効果は、No.2空缶と同程度ですが、燃焼時間が条件により変わる。

- ・下から空気が入らないと燃焼しないため、地面から宙に浮かせるため、網等が必要です。

4. 代金決済：納品月、翌月21日JA販売CIF登録口座より引落（土日祝の場合は、翌営業日）

5. 配布日：準備でき次第、注文書を提出いただいた、流通センター・共選所より連絡致します。

◆ケイントップ・ビニールホワイト（日焼け防止対策）・

マメコバチ営巣用「ヨシ」注文について

1. 資材紹介

- 1) ケイントップ：干ばつ防止と有機質の補給を目的に、10a当り1,000kg以上投与する。
- 2) ビニールホワイト：日焼け防止用に、樹の背面に塗布する。
- 3) ヨシは：マメコバチ（ツツハナバチ）の営巣用も使用する。巣のみでマメコバチは入っていない。

2. 価格（税込）

商品	ケイントップ	ビニールホワイト		ヨシ	
規格	20kg位ネット詰	4kg入り	20kg入り	1束約100本入	15束入
自己取予約概算 価格(税込み)	2,080円	2,680円	8,480円	590円	8,900円

3. 取りまとめ期日：2月28日（金）までに注文書を提出する。

4. 取りまとめ先：各JAファーム・営農資材センター・経済課まで

5. その他：引き渡しについては、上記取りまとめ先でご確認下さい。

注文書に記載された個人情報、当組織の事業遂行以外の目的には使用しない。

◆各種「農業関係共済・保険」のご紹介

農業に関する共済・保険をご紹介します。詳しい内容は、JA各支所共済窓口まで。

1. 『農作業中傷害共済』

本人はもちろん、その親族、雇用した方たちが農作業中の事故で死亡、負傷されたときに共済金を支払う。記名被共済者限定特約を付加すれば、集落営農・農業法人のオペレーターなどの農業従事者を個々に保障することができる。農繁期等で労務を確保される園主さんに奨めます。

2. 『農業者賠償責任共済』

農地や農業施設の欠陥に起因する賠償事故や農産物による食中毒等に起因する賠償、保管物にかかわる賠償事故等を保障する。農業者特有の賠償責任リスクに対応している。

3. 農業者のための『業務災害補償保険』のご紹介

労働者の業務災害に対する保障を目的としたもの。

4. 食品事業者総合保険『農業応援隊』のご紹介

多様化する農林水産業・食品事業の経営リスクに備えるもの。

◆長野県GAPを実践しよう 《第3回》

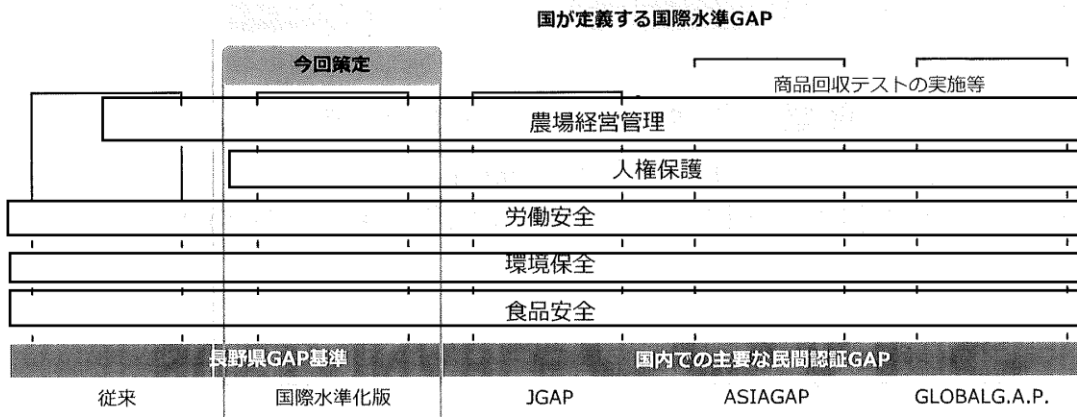
今回は、国際水準GAP(ギャップ)とは何か、長野県GAPとは何か、GAP(ギャップ)に取り組みメリットを確認しましょう。



－「国際水準GAP」って？これまでとどう違うの？－

従来GAPは労働安全、食品安全、環境保全の3本柱で推進してきましたが、これらに加えて人権保護、農場経営管理を加えたものが国際水準GAPであり、雇用者や作業者の人権を守る活動や責任者の配置・農場ルールの策定といった農場経営全体を管理する活動などの項目が追加され、国はこれを「国際水準GAP」と定義しました。

また、民間認証GAPもありますが、取組項目の関連は以下のとおりです。



※国際的にはGFSI（世界食品安全イニシアティブ）の承認を受けているGLOBALG.A.P.やASIAGAPが国際水準とされています。



－「長野県でのGAP」とは？－

長野県内において、生産者にGAPを実践いただくために、長野県内の実情を踏まえて県とJAグループで組織する長野県GAP推進会議で策定した長野県農業のあるべき姿として、①長野県GAP基準、②長野県適正農業規範、③長野県GAP生産者確認表の3つを策定しています。

－「長野県GAP基準」とは？－

GAPの取組事項について、農業生産活動が適正なのか点検・確認するための判断基準を確認できます。

■策定品目：米、麦、野菜、果樹、きのこ、花き

－「長野県適正農業規範」とは？－

GAPについて、「なぜ取組む必要があるのか」「できていなければ、どう改善すればよいのか」といった内容をまとめたもので、関係法令や参考となるホームページ等についても、併せて確認できます。

長野県GAP基準に沿って実践項目を整理し、「農場経営管理」「労働者の安全管理（労働安全および労働者の人権保護）」「食品安全」「環境保全」の4つの章で構成されています。

■記載品目：米、麦、野菜、果樹、きのこ、花き

－「長野県GAP生産者確認表」とは？－

長野県GAP基準の取組事項を網羅したチェックシートで、チェックにより自らのGAPの取組状況を確認できます。

■策定品目：米、麦、野菜、果樹、花き

※GAPは前頁の内容であり、チェックシートにチェックすることがGAPではありません。



－「GAP」に取り組むメリットは？－

GAPの実践で、多くの経営改善効果が見込まれます！ぜひあなたも取り組んでみませんか？

	GAPの実践内容		GAP実践による効果！
リスクの低減	リスクを管理するため、 食中毒や異物混入、 労働災害のリスクに気づく！		万一を備えて対応すること で、事故時に被害を最小限に！
コストの削減	肥料などの経営資源を 在庫管理と記録で正しく把握 ⇒ムダな経費に気づく！		使用資材やその購入量を見直し、 生産コストを削減！
生産性の向上	栽培計画の策定と、 工程管理を詳しく実施 ⇒ムダな工程に気づく！		無理・無駄のない計画で 実施し、生産性を向上！
労働安全 人権保護	労働安全の確保の取組の 実施と、作業者が気持ち よく作業できるように整備 ⇒事故を未然に防ぐ！		労働安全を確保した作業 の実施で、結果的に作業 効率も向上！

－お問い合わせ先－

長野県およびJAグループでは、生産者個人や団体でのGAP実践にあたっての説明会をはじめ、情報発信、相談等の支援、GAP認証取得に係る支援を行っています。

まずはお近くの県農業農村支援センターへお問い合わせください。

なお、JAの部会で取り組む場合などはJAへお問い合わせください。

県	○佐久農業農村支援センター	☎0267-63-3167	○木曽農業農村支援センター	☎0264-25-2230
	○上田農業農村支援センター	☎0268-25-7157	○松本農業農村支援センター	☎0263-40-1947
	○諏訪農業農村支援センター	☎0266-57-2932	○北アルプス農業農村支援センター	☎0261-23-6543
	○上伊那農業農村支援センター	☎0265-76-6841	○長野農業農村支援センター	☎026-234-9536
	○南信州農業農村支援センター	☎0265-53-0436	○北信農業農村支援センター	☎0269-23-0221
	○県庁農政部農業技術課 環境農業係	☎026-235-7222	林業関係（原木きのこ） ○県庁林務部信州の木活用課 林業経営支援係 ○林業総合センター 特産部	☎026-235-7267 ☎0263-52-0600
※農業農村支援センターはGAPの取組の実践支援を行う技術経営普及課を掲載しています。				
JA	○JA長野中央会 営農支援センター	☎026-236-2019	○JA全農長野 生産振興部生産振興課	☎026-219-3811

GAPの支援情報等は県HPをチェック！→

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nogi/sangyo/nogyo/hiryo/gap/index.html>



令和7年春 凍霜害対策用資材 注文書

各流通センター・共選所へ 2/27締切

支所 組合員コード

氏名 電話番号 ※日中連絡とれる番号

資材	数量	資材	数量
No.1 ローソクかす	箱	No.4 空き缶 200ぺール缶	個
No.2 空き缶 通常缶	個	No.5 練炭	個
No.3 空き缶 一斗缶	個		

JAグリーン長野各流通センター・共選所行き

キ リ ト リ セ ン

令和7年春 各種生産資材 注文書

各JAファーム・資材センターへ 2/27締切まで提出

支所 M指定 組合員コード

氏名 電話番号 ※日中連絡とれる番号

資材	数量	資材	数量
ケイントップ	袋	ヨシ1束100本入	個
ビニールホワイト4kg	個	ヨシ15束入	個
ビニールホワイト20kg	個		

JAグリーン長野各JAファーム・営農資材センター・経済課行き